

ENTERPRISE SUMMARY

2013.4.1 – 2014.3.31

modulat

We modulate your business to success !

モジュレ株式会社

証券コード : 3043

<http://www.modulat.com/>

モジュール株式会社は、2000年4月にPC/PCサーバーに特化した企業の情報システム部門のアウトソーシングを主業務として発足いたしました。以来、常に「お客様にとって何が最適か?」を自問自答し、妥協のないサービスを提供し続ける事で、高い信頼とご評価を頂いております。当社の強みは、特定のメーカーや製品に縛られず常にお客様に最適なサービスやシステムをご提供可能な「中立性」、それらをお客様のご要望に応じてフレキシブルにご提供出来る「オーダーメイド型サービス」、その為に情報システム部門が抱える業務のアウトソースに特化した「利用技術の専門性」、そして「お客様との継続的な関係性」です。私達はこれからもお客様と共に成長していく為に、このスタンスを守り続け、そして磨き続けてまいります。

さて、当社の2014年3月期ですが、混迷が続く経済環境の中、「本業である継続ITサービスへの集中」「契約の長期化・大型化」そして「新しいITサービスの拡大」に社員一丸となり取り組んだ結果、増収増益（売上総利益・経常利益・当期純利益は過去最高）及び増配を達成する事が出来ました。また、発表済みの中期経営計画の通り「拡大するマーケットニーズへの対応」と「ITソリューション系ビジネスの拡販」を行い、多くの新しいクライアント企業様とのお取引が開始され、今後の事業基盤を強化する事が出来ました。経営体制については上場企業としての社会的な責任の全うに継続的に努めてまいります。

2015年3月期は、今後数年間の成長の為に「現在の堅実な事業基盤の更なる強化」「新サービスの拡大及び立ち上げ」「より働きやすい環境構築」「増収増益」「過去最高の利益と共に更なる増配」「より厳正な経営体制の継続強化」などについて、役職員一同で堅実な挑戦を続け、継続的な事業の成長、企業価値の向上を目指してまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2014年6月
代表取締役

松村 明



■ 貸借対照表 (要旨)

科 目	(単位: 千円)	
	第14期 (2013年3月31日現在)	第15期 (2014年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	531,380	925,518
固定資産	733,218	703,021
資産合計	1,264,599	1,628,540
負債の部		
流動負債	727,355	979,766
固定負債	159,779	188,683
負債合計	887,134	1,168,449
純資産の部		
純資産合計	377,464	460,091
負債純資産合計	1,264,599	1,628,540

貸借対照表 POINT

- ・流動資産及び固定資産：現預金及び棚卸資産の増加等により、流動資産が増加。
- ・流動負債及び固定負債：仕入債務と短期借入金、長期借入金の増加により、流動負債及び固定負債が増加。
- ・純資産：当期純利益の計上によって利益剰余金が増加し、純資産が増加。

■ 損益計算書 (要旨)

科 目	(単位: 千円)	
	第14期 (2013年4月1日～ 2013年3月31日)	第15期 (2013年4月1日～ 2014年3月31日)
売上高	1,793,640	2,015,519
営業利益	104,492	140,565
経常利益	187,597	217,484
当期純利益	88,743	98,661

損益計算書 POINT

本業である「継続ITサービス」の売上は、既存顧客のサービス提供縮小が一部あったものの新規顧客との取引開始等により堅調に推移。商品売上は、主要顧客からの大規模な製品調達案件や、新サービス関連の商品販売等を獲得した事により、順調に推移。その結果、営業利益・経常利益・当期純利益については、過去最高の業績となりました。

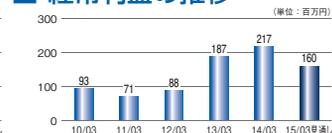
■ キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

科 目	(単位: 千円)	
	第14期 (2012年4月1日～ 2013年3月31日)	第15期 (2013年4月1日～ 2014年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,634	155,404
投資活動によるキャッシュ・フロー	56,877	△107,745
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,798	180,756
現金及び現金同等物の期末残高	163,400	391,816

■ 売上高の推移



■ 経常利益の推移



■ 2015年3月期通期業績予想

売上高	2,100百万円
営業利益	160百万円
経常利益	160百万円
当期純利益	102百万円
1株あたり当期純利益	74.45円

2014年3月期の総括

期首予想を達成。新規投資も行いつつ、増収増益

- ・ 堅実に実績を積み重ね、4期連続の増収、5期連続の増益。
- ・ 売上総利益、営業利益、経常利益、純利益は過去最高額を計上。
- ・ 営業利益率は前期から1.2ポイント上昇。収益構造の改善を着実に推進。

商品売上が復調、新サービス開始

- ・ 商品売上は緩やかな改善傾向を見せ、前期比39.1%増を計上して順調。
- ・ ITサービスは横ばい傾向だが、多くの新規顧客（計44社。内大手17社）を獲得。
- ・ 下期から開始した新サービス関連で11社の新規顧客を獲得。

ガバナンス強化を継続、増配

- ・ 数年掛けて強化してきた経営体制ガバナンスを維持継続。
- ・ 将来に向け、若年層の採用活動及び育成活動の強化を開始。
- ・ 純資産22%増加、営業C/Fは4期連続プラス。増配（期首予測と同額）。

2015年3月期の見通し

堅実な成長を堅持しつつ、新サービスも収益の柱へ

- ・ マーケットニーズ拡大を背景にした堅実な成長に、新サービスでの拡大を付加する。
- ・ ITサービスの長期化、安定化、大型化を加速。将来の継続大型案件の獲得を目指す。
- ・ 純利益1億円超へ。5期連続の増収、6期連続の増益を目指す。

スマートデバイス対応の拡大、新ITサービスの拡大

- ・ 既存ITサービスは日本企業のスマートデバイス元年として拡大計画。
- ・ 新ITサービスは、引き合いも多く、継続的に利益貢献出来る状態を確立する。
- ・ 自社サービス開発の専任部門を設置。高い収益性のサービスの早期リリースを目指す。

強化したガバナンスとベンチャーらしさの共存

- ・ 取締役会決議における社外取締役の権限強化、新役員の選任などガバナンス強化を継続。
- ・ 自由な労務環境構築を更に加速させ、ベンチャーらしさやスピード感も加速。
- ・ 経営基盤と財務の強化を継続。継続して利益計上し、安定した配当を維持。



年間継続契約額



顧客数



1株当たり純資産額および1株当たり当期純利益



2013年4月1日付で1株につき100株の株式分割をしております。上記では、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。

ビッグデータ対応分析ソフト ADVIZOR (アドバイザー)

今、巷で話題の“ビッグデータ”に対応したデータ分析ソフトです。ライバル製品よりも遥かに早く、遥かに安く、直観的なデータ分析作業を行う事が出来ます。米国製のソフトを当社で日本語化して、日本での総代理店として本格的に展開してまいります。オンメモリという最新技術も採用されており、世界で信頼あるガートナーレポートでも高い評価を受けている製品です。

IBM製オフコン延命ソフト X-Analysis (エックス・アナリシス)

古くからある良いコンピューターは、まだまだ現役ですが、そのシステム開発者や運用担当者は年々減っていきます。そんなIBM製オフィスコンピューター（数万台の国内稼働実績）の“設計書の無いシステム”や“熟知している技術者不在のシステム”を、自動で分析して最新のシステム仕様書を作成するソフトウェアです。英国製のソフトをメーカーと共同で日本語化して、日本での総代理店として本格的に展開を進めています。尚、最新型サーバーへ半自動で移行するソフトも順次リリースする予定です。

働く人のリスク診断ソフト HELRisk (ヘルリスク)

多様化した社会構造の中、働く人の心の安定は企業にとって避けては通れない課題です。日本で3000社以上の導入実績を誇る適性診断ソフト「CUBIC」の開発元であるAGP社と当社の共同開発で、働く人の潜在的リスクを数値化する診断ソフトを開発しました。インターネットを通じて直ぐに結果の出るサービスとして、企業様の採用などをご支援していく計画です。

パソコンを人手によらず動かす自動化ソフト Auto-PC (オートPC/仮称)

企業内でパソコンはなくてはならないものになりました。タブレットなどの台頭もありますが、まだまだ資料作成や分析作業ではパソコンが必要で棲み分けされていく、正に現代の算盤です。しかし、そのパソコンで“繰り返し作業”や“単純作業”がどんなに多く行われている事でしょう。当社が自社の為に開発したこのソフトウェアは、パソコンが自動でこれらの作業を行います。そうです！初期設定を除けば、毎日の単純作業はアイコンをクリックするだけで1秒で終わります。外販の準備を進めており、企業のデスクワークの効率化に大きく寄与する計画です。

ソフトやサービスに関するお問い合わせは、以下のメールアドレスもしくはホームページからご連絡ください。

sales@modulat.com

● 会社概要 (2014年3月31日現在)

会社名 モジュール株式会社
所在地 〒108-0014 東京都港区芝五丁目25番11号
TEL：03-3454-2061
FAX：03-3454-2062
設立 1999年9月
資本金 254百万円
従業員数 64名

● 役員 (2014年6月19日現在)

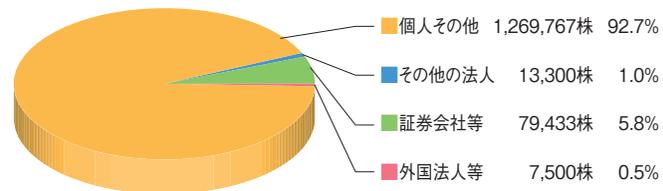
代表取締役	松村 明	取締役	古澤 龍郎
取締役	藤井 隆徳	常勤監査役	山田 義範
取締役	西尾 いづみ	監査役	河邊 義正
取締役	岩城 哲哉	監査役	近 暁

● 株式の状況 (2014年3月31日現在)

発行可能株式数 2,000,000株
発行済株式の総数 1,370,000株
株主数 715名

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松村 明	453,300	33.1
清水 博行	66,500	4.9
高松 忠行	65,500	4.8
木原 和彦	65,000	4.7
菅原 敏彦	65,000	4.7
佐伯 達之	60,000	4.4
飯塚 麻実	51,100	3.7
渡部 真理	48,000	3.5
日本証券金融株式会社	26,500	1.9
岩本 葉子	19,300	1.4

所有者別株式分布状況



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
	※そのほか必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日	

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きが出来ませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社に口座のご利用がない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社にて口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法	当社のホームページに掲載する http://www.modulat.com/
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場

モジュール 営業所・サービスセンター一覧

大阪営業所

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4-7-21 オーガニックビル8F

仙台営業所

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-12-12 MB小田急ビル4F

【DRC】データリカバリーセンター	記憶装置(DISK)の障害データ復旧
【IEC】ITエデュケーションセンター	I T / P C の 教 育
【ISC】インターネットサービスセンター	サーバーハウジング、データセンター
【LLC】ITロングライフセンター	サーバー等の延命保守/旧型環境構築
【PHC】PCヘルプセンター	P C 等 の 一 般 的 Q & A
【RSC】リペア&セットアップセンター	P C 等 の 修 理 ・ 大 量 セ ッ ト ア ッ プ
【SDC】ソフトウェア開発センター	ソフトウェアの大規模開発
【SRC】セキュアサイクルセンター	P C 等 の 処 分 ・ 再 利 用

モジュール株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-25-11 ヒューリック三田ビル2F